

事業所名

iroとりどり

支援プログラム

作成日

2024 年

2 月

20 日

法人（事業所）理念		～子どもたちの現在（イマ）を支えて未来を支援していく～ ・スモールステップで一緒に挑戦していき「できた」を少しずつ増やしていく。 ・子ども自身が得手不得手がわかるようになり、将来に向けた困り感を少しでも減らせるようになるに支援する。							
支援方針		・人間関係の幅を広げ、集団生活が戸惑うことなく円滑に行えるようになることを目指す。 ・見える化されたスケジュールなどを確認し、活動などスムーズに行えるようになることを目指す。 ・将来的に生活スキルを身に付け困り感のないよう支援していく。							
営業時間		9 時	30 分	18 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	食事、排泄、生活、衣服等の着脱の基本的な日常生活動作ができるようになる事を主軸とし、幼児の健康や安全に十分に配慮を行いながら、同時に、健康状態の把握（検温等）を行いながら、食育活動や畑での収穫の活動を取り入れていく。また、個々の幼児の状態に合わせて、午睡を行い身体を休める休憩の時間を確保し、生活リズムや基本的な生活習慣の形成に取り組み、健康維持の部分にも取り組んでいく。							
	運動・感覚	姿勢と運動の基本的技能の向上、身体移動の向上を主軸として、生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得を行う。サーキットトレーニング、公園遊びなどの運動療育により、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る取り組みを行う。幼児の個々の運動の能力の状態に合わせて、トレーニングの機器を使用し様々な体の動かし方や、体幹強化、反射行動の強化を図る取り組みを行う。微細の運動については、粘土、絵具等の感覚遊びを通して、手指の巧緻性の向上にも取り組んでいく。							
	認知・行動	はじまりの会での日付、曜日、スケジュールの確認を主軸に見通しを持ち、活動参加を行える事に取り組んでいく。物の大、小の違いや数と個数の一致にも取り組み、様々な認知を養えるような支援を提供していく。また見通しを持ち、スケジュールの沿った行動へ移行し、活動への参加等、混乱することなく、過ごす事が行えるように取り組んでいく。							
	言語 コミュニケーション	言語、絵カード（身近な物の名前等の認識等）から言語の認識を高めて行くことを主軸とし、様々な語彙の獲得を行いながら、様々な言葉を習得し、良好なコミュニケーションに繋げていくことに取り組んでいく。年齢や成長段階に合わせた集団参加を意識した、他児との良好なコミュニケーションを獲得し戸惑うことなく集団参加が行えるように支援に取り組んでいく。							
	人間関係 社会性	身近な人の関係性の構築からはじめ、少しずつ、人間関係の幅を広げていき、年齢や成長段階に合わせた集団参加の際に戸惑う事無く参加を行えるように人間関係の構築がスムーズに行えるようになる事に取り組んでいく。公園に行ったり、商店等に出向き、買い物にての金銭のやり取りを行ったり、実際に行動、体験等をしながら、経験の中社会性を身に付けて行くことに取り組んでいく。							
家族支援		利用児童についての相談があった場合は都度、直接お会いしてお話を伺ったり、メール等でお話をお伺いし、相談、援助を行っている。支援計画更新時等の際に、面談を行い、相談、援助を行っている。				移行支援		保育園、幼稚園、小学校等に必要に応じて連携を図っていく。	
地域支援・地域連携		夏季期間の際に、夏祭りを実施。地域の回覧板にて、広報活動を行い、地域の方の方に来所をし、事業所に対する理解と連携の呼びかけを行っている。				職員の質の向上		利用児童の情報共有、支援アプローチの取り組み方を話し合い、様々な角度や見立てからのアプローチ方法を検討し、支援に対する個々の質の向上を図っている。また、モニタリング、評価、支援計画の更新時の際に、会議に参加をし、個々の見解を述べて貰いながら、各々の支援の質の向上に繋がるように取り組んでいる。	
主な行事等		学校休業日の期間に、公共交通機関を利用、又は車両にて遠出の外出活動を実施。クリスマス、ハロウィン、節分、利用児童の誕生日会、地域連携の一貫として夏祭りを実施している。							